

定住自立圏構想の推進について

～全国の取組事例を踏まえて～

平成24年7月31日

総務省地域力創造グループ 地域自立応援課

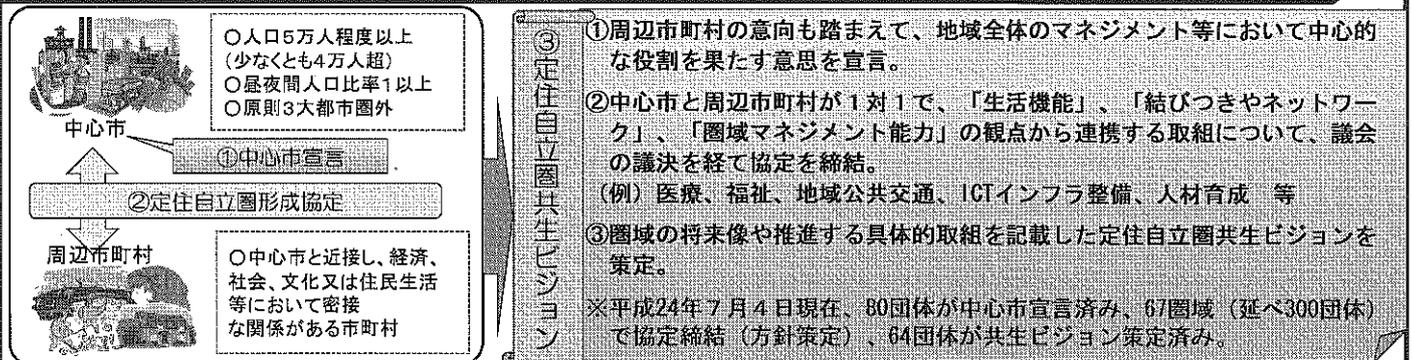
「定住自立圏構想」の推進

1 基本的考え方～都市は都市らしく、農山漁村は農山漁村らしく～

都市は都市らしく、農山漁村は農山漁村らしい地域振興を進めるため、圏域ごとに生活機能等を確保し、地方圏における定住の受け皿を形成する定住自立圏構想を推進する。

(「新成長戦略～「元気な日本」復活のシナリオ～」(平成22年6月18日閣議決定)より抜粋)

2 定住自立圏形成へ向けた手続き～国への申請や国の承認が必要ない分権的な仕組み～

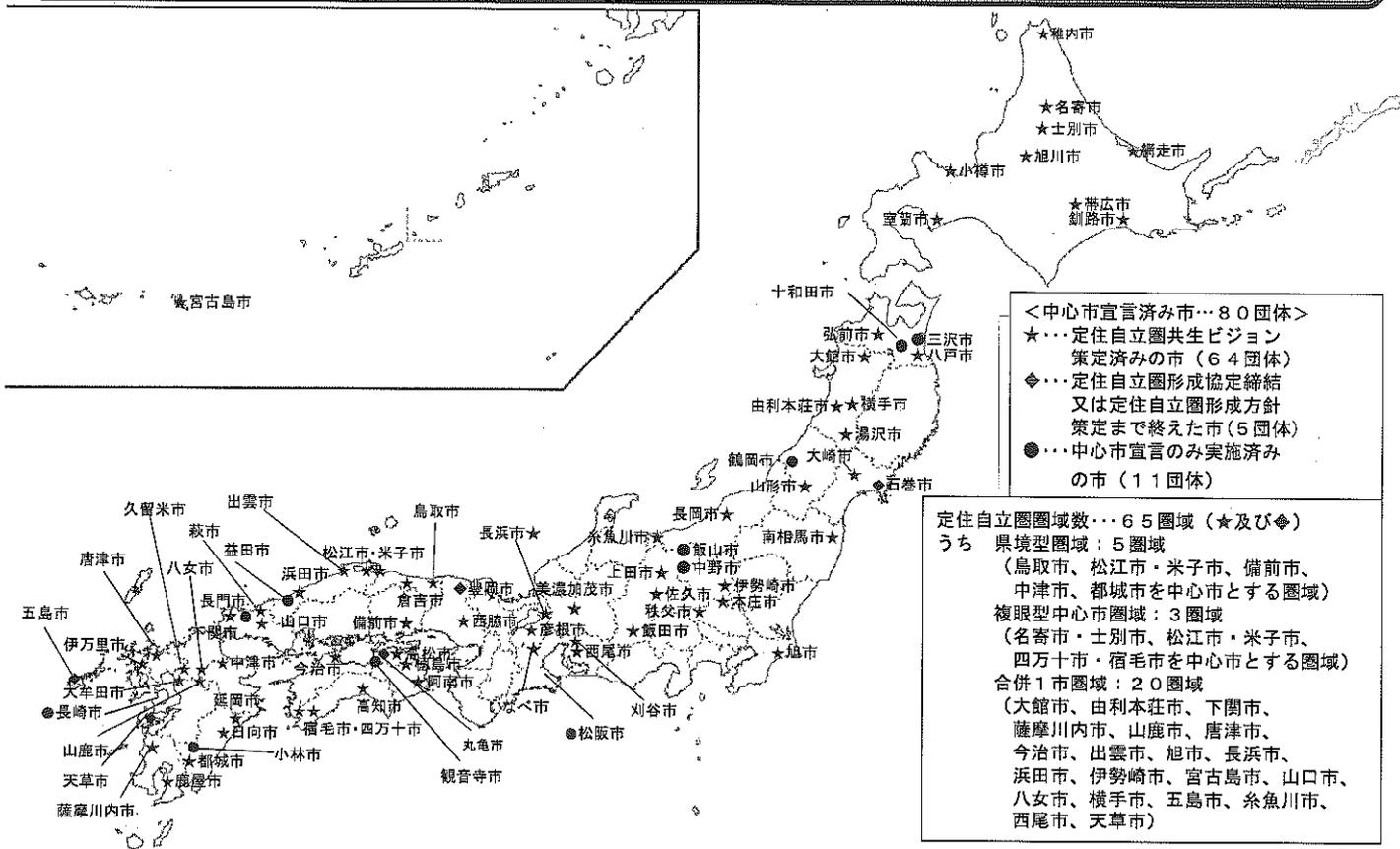


※広域的な合併を経た市が、当該市のみで定住自立圏を形成する場合は、定住自立圏形成方針を策定

3 県境型、合併1市圏域、複眼型など地域の実態に応じた圏域づくりが可能

- 県境型** 住民の生活実態を踏まえ、県境の市町村間で圏域を形成(鳥取市、米子市・松江市、備前市、中津市、都城市)
取組例: 広域観光ルートの設定、県境コミュニティバスの運行等
- 合併1市圏域** 広域的な合併を行った合併市で人口最大の旧市の昼夜間人口比率が1以上のものは、合併1市で定住自立圏の形成が可能(大館市、由利本荘市、下関市、薩摩川内市等)
- 複眼型中心市** 隣接する2つの市(それぞれ昼夜間人口比率要件及び地域要件を満たすもの)の人口の合計が4万人を超えるときは、2つの市を合わせて1つの中心市とみなすことができる(名寄市・士別市、十和田市・三沢市、米子市・松江市、四万十市・宿毛市等)

定住自立圏の取組状況 (平成24年7月4日現在)



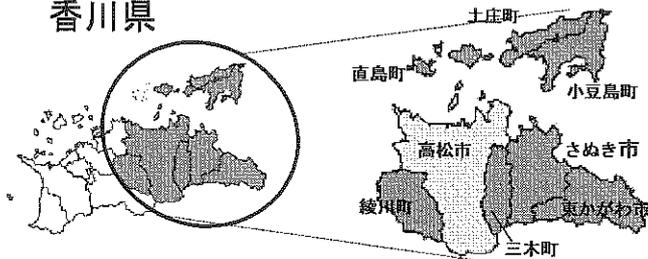
定住自立圏の取組状況 (平成24年7月4日現在)

都道府県	宣言済みの中心市	未取組中心市	都道府県	宣言済みの中心市	未取組中心市
1 北海道	小樽市、旭川市、室蘭市、釧路市、網走市、稚内市、帯広市、名寄市、士別市(仮設置)	札幌市、函館市、苫小牧市、千歳市、滝川市、石狩市	26 京都府		福知山市
2 青森県	八戸市、弘前市、十和田市、三沢市(仮設置)	青森市、五所川原市、むつ市	27 大阪府		(※中心市要件該当団体なし)
3 岩手県		盛岡市、宮古市、大船渡市、北上市、一宮市、釜石市、奥州市	28 兵庫県	西脇市、姫岡市	姫路市、洲本市、たつの市
4 宮城県	石巻市、大崎市	仙台市、気仙沼市	29 奈良県		天理市
5 秋田県	横手市、大館市、湯沢市、由利本荘市	秋田市、能代市、大仙市	30 和歌山県		和歌山市、田辺市
6 山形県	山形市、鶴岡市	米沢市、酒田市、新庄市、東根市	31 鳥取県	鳥取市、米子市、倉吉市	
7 福島県	南相馬市	福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、喜多方市、二本松市	32 島根県	松江市、浜田市、出雲市、益田市	(安来市、浜田市町村として取組済み)
8 茨城県		水戸市、日立市、土浦市、常総市、つくば市、鹿嶋市、筑西市、神栖市	33 岡山県	徳島市	岡山市、倉敷市、津山市
9 栃木県		宇都宮市、栃木市、佐野市、小山市、真岡市、大田原市	34 広島県		広島市、呉市、三原市、尾道市、福山市、府中市、三次市、庄原市
10 群馬県	伊勢崎市	前橋市、高崎市、桐生市、太田市、渋川市、富岡市	35 山口県	下関市、山口市、萩市、長門市	宇部市、下松市、徳島市、周布市
11 埼玉県	秩父市、本庄市		36 徳島県	徳島市、阿南市	
12 千葉県	旭市	館山市	37 香川県	高松市、丸亀市、観音寺市	坂出市
13 東京都		(※中心市要件該当団体なし)	38 廣島県	今治市	松山市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、四国中央市
14 神奈川県		(※中心市要件該当団体なし)	39 高知県	高知市、四万十市、宿毛市(仮設置)	(高知市、※高知市町村として取組済み)
15 新潟県	長岡市、糸魚川市	新潟市、三条市、越前市、新潟市、十日町市、村上市、南市、土曜市、佐渡市、青森市	40 福岡県	大牟田市、久留米市、八女市	北九州市、福岡市、唐津市、壱岐市、田川市、朝倉市
16 富山県		富山市、高岡市、魚津市、砺波市、射水市	41 佐賀県	唐津市、伊万里市	佐賀市、鳥栖市、武雄市
17 石川県		金沢市、七尾市、小松市	42 長崎県	長崎市、五島市	佐世保市、島原市、諫早市
18 福井県		福井市、敦賀市、越前市	43 熊本県	山鹿市、天草市	熊本市、八代市、玉名市、湯浅市
19 山梨県		甲府市	44 大分県	中津市	大分市、日田市、佐賀市
20 長野県	飯田市、上田市、佐久市、中野市、飯山市(仮設置)	長野市、松本市、岡谷市、諏訪市、伊那市	45 宮崎県	都城市、延岡市、日向市、小林市	宮崎市、日南市
21 岐阜県	美濃加茂市	岐阜市、大垣市、高山市、半田川市	46 鹿児島県	薩摩市、薩摩川内市	鹿児島市、出水市、指宿市、霧島市、南さつま市、奄美市、霧九州市
22 静岡県		静岡市、浜松市、沼津市、熱海市、富士市、藤原市、焼津市、裾野市、浜西市、牧之原市	47 沖縄県	宮古崎市	那覇市、浦添市、名護市
23 愛知県	刈谷市、西尾市	豊田市、安城市、田原市			
24 三重県	松阪市、いなべ市	津市、四日市市、伊勢市、亀山市、伊賀市			
25 滋賀県	彦根市、長浜市	彦根市、栗東市、東近江市			

○ 80団体が中心市宣言済み
 ○ 66圏域(延べ297団体)で定住自立圏形成協定締結又は定住自立圏形成方針策定済み
 ○ 64団体が定住自立圏共生ビジョン策定済み

高松市 定住自立圏形成協定の概要

香川県



中心市名	人口(人)	圏域内人口比率
高松市	418,125	1,111

周辺市町村名	人口(人)	周辺市町村名	人口(人)
土庄町	16,411	直島町	3,538
小豆島町	17,257	綾川町	25,628
三木町	28,790	さぬき市	55,754
東かがわ市	35,929	圏域合計	601,432

※平成17年国勢調査

○高松市と周辺町との間の定住自立圏形成協定の概要

(1) 生活機能の強化に係る政策分野

- ア 医療
 - ・医療を安定的に提供できる体制の確保
 - ・救急医療体制の確保
- イ 福祉
 - ・子育て支援および高齢者保護の充実
 - ・広域的な審査会の実施
- ウ 教育
 - ・中学校総合体育大会等の連携
- エ 産業振興
 - ・観光の振興
 - ・中心市街地におけるにぎわいの創出
- オ その他
 - ・消防・防災体制の強化 等

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

- ア 地域公共交通
 - ・公共交通機関の利用促進
 - ・海上交通の確保・充実
- イ ICTインフラ整備
 - ・ブロードバンドの利用環境の向上
- ウ 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消の促進
 - ・中心市街地における直売所の整備および活用
- エ 地域内外の住民との交流促進
- オ 文化芸術の振興
 - ・文化芸術鑑賞等の機会の提供等
- カ その他
 - ・図書館サービスの提供
 - ・圏域情報の発信および共有化 等

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

- ア 職員の交流、人材育成等
 - ・職員の合同研修等
- イ その他
 - ・大学等との連携

※周辺町により、協定内容は異なることに留意。

4

定住自立圏における取組例

○政策分野別の取組状況

定住自立圏67圏域（平成24年7月4日時点）における主な取組例と圏域数

市町村間の役割分担による生活機能の強化

医療
67圏域 医師派遣、適正受診の啓発、休日夜間診療所の運営等

福祉
46圏域 介護、高齢者福祉、子育て、障がい者等の支援

教育
53圏域 図書館ネットワーク構築、文化・スポーツ交流、公共施設相互利用等

産業振興
60圏域 広域観光ルートの設定、農産物のブランド化、企業誘致等

環境
22圏域 低炭素社会形成促進、バイオマスの利活用等

市町村間の結びつきやネットワークの強化

地域公共交通
60圏域 地域公共交通のネットワーク化、バス路線の維持等

ICTインフラ整備・利活用
31圏域 メール配信による圏域情報の共有等

交通インフラ整備
36圏域 生活道路の整備等

地産地消
34圏域 学校給食への地元特産物の活用、直売所の整備等

交流移住
47圏域 共同空き家バンク、圏域内イベント情報の共有と参加促進等

圏域マネジメント能力の強化

合同研修・人事交流
54圏域 合同研修の開催や職員の人事交流等

外部専門家の招へい
20圏域 医療、観光、ICT等の専門家を活用

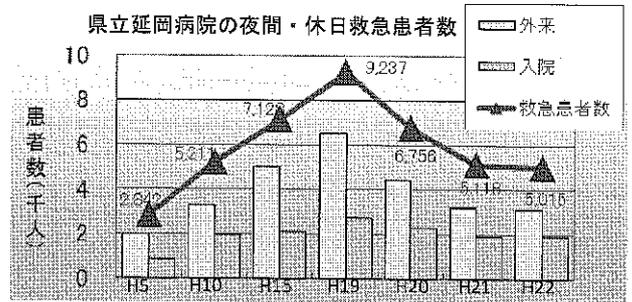
※各団体の協定書から総務省作成。全体整理の観点から取組を分類したため、各団体による協定書の分類の合計とは必ずしも一致しない。

5

圏域医療体制の充実(宮崎県北定住自立圏)

○ 圏域の中核病院である県立延岡病院と地域の医療機関との機能分担と業務連携を徹底し、中核病院に勤務する医師の負担を軽減させるため、医師会との連携による圏域医療体制の構築や住民団体による適正受診の啓発等を推進

- ・ 圏域内市町村、医師会との協力による夜間急病センター、休日在宅当番医制の運営
- ・ 住民団体と連携した適正受診の啓発
- ・ 小児救急医療電話相談の活用促進
- ・ 地域医療を担う人材を育成するための取組

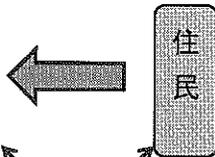
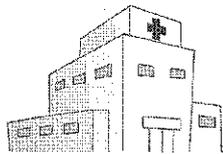


↑取組開始以来、県立病院の夜間・休日救急患者数は減少傾向に

○ 関係市町：圏域の9市町村

中核病院(県立延岡病院)

地域医療機関



医師確保の取組

適正受診の啓発

行政・住民団体



適正受診啓発パンフレット

ドクターカー運行事業(八戸圏域定住自立圏)

○ 圏域内の中核的な医療機関に、ドクターカーを配備し、ドクターヘリ(青森県事業)との一体運用を行い、救急医療体制の一層の充実を図る。

○ 具体的には、ドクターヘリが出動できない場合(夜間、悪天候時等)に、ドクターカーが出動し、同乗する医師が救急現場や搬送時の医療行為を実施する。

○ 平成21、22年度については、八戸市が運営費を全額負担し、平成23年度以降は、構成市町村間で費用を負担する予定。

○ 関係市町村：圏域内の8市町村

出動状況

☆H22.4.1~H23.1.31の状況

・出動要請 450件

八戸市内	355件
おいらせ町	19件
階上町	27件
南部町	11件
五戸町	6件
三戸町	6件
田子町	2件
新郷村	1件
その他	23件

※ H21年度(H22.3.29~H22.3.31) 6件



八戸市民病院に配備したドクターカー

病児・病後児保育事業(南信州定住自立圏)

- 圏域の子育て環境の充実のために、病気又は病気回復期にある児童等への保育事業を実施。
- 関係市町村：圏域内の14市町村
- 累計利用者数(平成22年4月～平成23年1月)：367人

周辺町村

飯田市

業務委託



登録料納付録

利用



協定により、
圏域内の町村民も利用可能に



定員6名
(繁忙期は9名)
年間運営費(委託料)
約1,900万円

〔利用料〕

世帯区分	4時間未満	4時間以上
生活保護、住民税非課税ひとり親世帯	無料	無料
住民税非課税世帯	500円	1,000円
上記以外	1,000円	2,000円

周辺町村は、各町村の実利用者数に1日1人当たり単価(※)を乗じた額を負担する。 ※(年間運営費－国県補助金)÷年間利用可能者数

飯田市は、年間運営費から、国県補助金、利用料収入(市民分)及び周辺町村負担金を除いた額を負担する。

圏域内図書館の多様なネットワーク構築事業(湖東定住自立圏)

- 圏域内の図書館が定期的に情報を交換したり、図書館行事を共同で開催したりするなど、連携を強化する。
- 図書館職員の交流や合同研修会などを実施し、職員の資質の向上を図る。
 - ・館長会議の開催 (定例:月1回)
 - ・合同学習会の開催 (平成22年度 2回)
 - ・ワークショップの実施 (平成22年度「選書と棚づくり」をテーマに3回実施)
- 多文化・障がい者・高齢者サービスについて、図書館間の情報交換やノウハウの共有など相互支援を行いながら取組を進める。
- 圏域内の各図書館において、図書の貸し借りがどの程度あるのか、調査を実施し、その結果を踏まえて、将来的な相互利用に向けての検討を進める。
- 関係市町村：圏域内の5市町

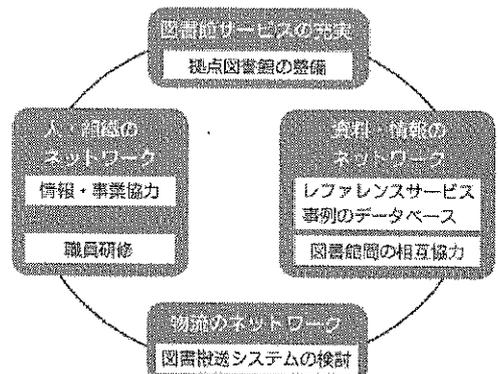


湖東湖沼図書館合同研修会



多賀町立図書館でのワークショップ開催

目指すネットワークの構築図



※レファレンスサービス 必要な資料・情報を求める利用者に対して、図書館の資料と機能を活用して、資料や情報を提供したり、情報へのアクセスを援助するサービス

公共施設の相互利用事業(長岡地域定住自立圏)

- 圏域住民の文化活動やスポーツ活動等の場の拡充を図り、その発展に寄与するため、圏域内の市町が設置する集会・文化施設や運動施設について、圏域内の利用については同一料金を適用。
- 関係市町村：圏域内の4市町



長岡リリックホール



小千谷市総合体育館



見附運動公園



出雲崎町テニスコート

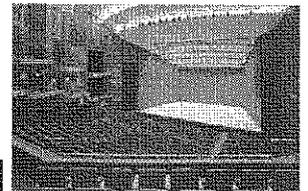
文化芸術鑑賞等の機会の提供(瀬戸・高松広域定住自立圏)

- 中心市と周辺町が共同して文化芸術事業を主催し、中心市である高松市のサンポートホール高松に圏域内の児童、生徒等を招待し、優良な文化芸術鑑賞等の機会を提供する。
- 関係市町村：圏域内の6市町
- 平成23年度開催実績

公演日：平成24年2月13・14日(各日2公演、計4公演)
 公演場所：サンポートホール高松
 演目：“こころの劇場”劇団四季ミュージカル『はだかの王様』
 鑑賞者数：4,715名(64校)



ミュージカル「はだかの王様」
 撮影：荒井 健(これまでの公演より)



サンポートホール高松

地場産業振興センターの運営(南信州定住自立圏)

- 圏域産業の中核的な支援機関である地場産業振興センターの施設及び人材を充実させ、圏域内の企業に対し人材育成、新事業展開、新規創業等の支援を行うことにより、企業の経営及び技術の革新並びに産業クラスターの形成を目指す。
- 関係市町村：圏域内の14市町村

<主な企業群>

精密機械工業系	130社
電気・電子工業系	30社
食品産業系	160社
伝統産業(水引他)	40社

<大学・公設試験機関>

信州大学
明治大学
長野高専
諏訪東京理科大学
長野県総合技術センター

<三遠南信ネットワーク>

浜松商工会議所
豊橋商工会議所

飯伊地域地場産業振興センター
 ~ものづくりの拠点~

- ◆ 地域産業振興事業
- ◆ 産業技術大学
- ◆ ビジネスネットワーク支援センター
- ◆ 工業技術センター(各種試験・技術相談)
- ◆ EMCセンター(電磁波防止技術関連)
- ◆ 環境技術開発センター(インキュベーション関連)
- ◆ 地場産品紹介、販売



資金
人材

<自治体>

長野県
 飯田市、周辺13町村

<支援機関>

飯田商工会議所
 商工会連合会

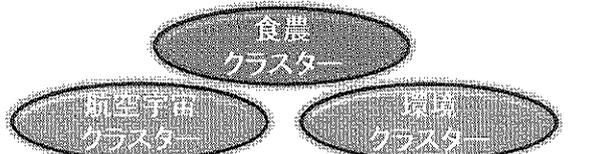
<金融機関>

飯田信用金庫
 八十二銀行

<シンクタンク>

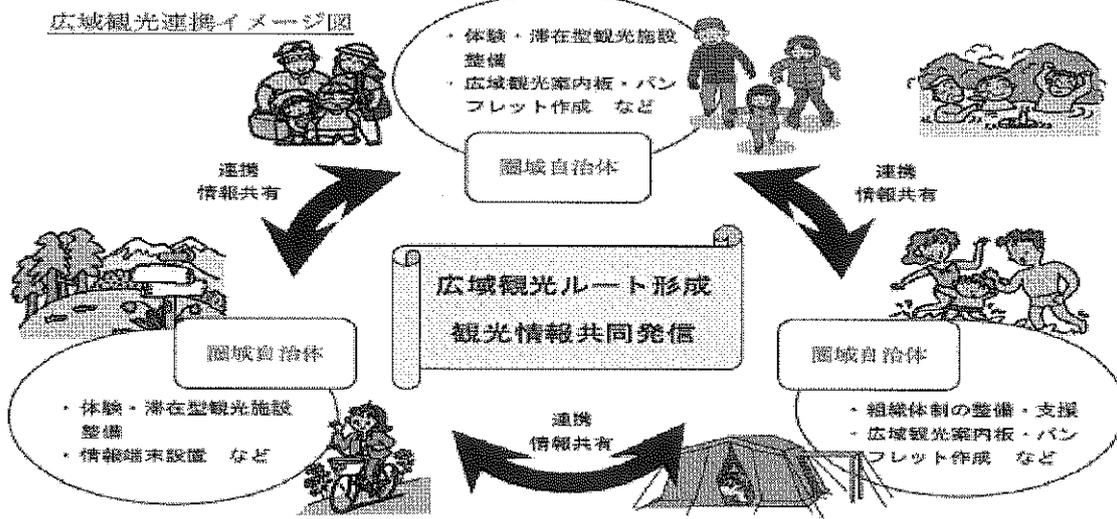
しんきんシンクタンク
 企業OB

域外との結びつきを強める



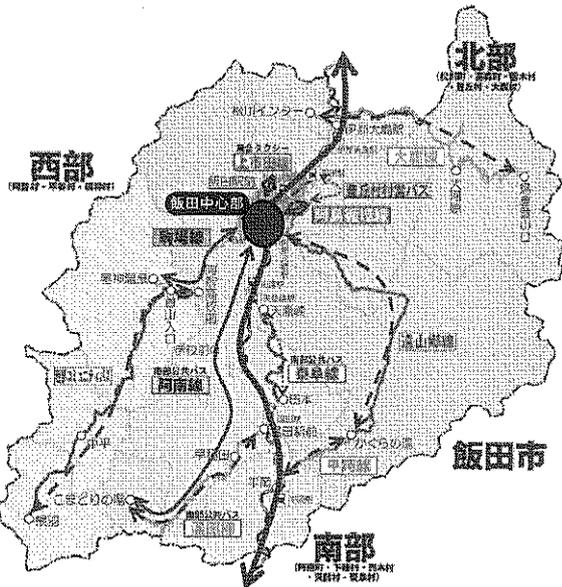
広域観光連携事業(九州周防灘地域定住自立圏)

- 広域観光パンフレットやルートマップの作成や、案内看板の整備、圏域内の市町村の観光案内施設等における圏域内観光情報の相互発信等により、圏域にある観光資源相互の連携を図り、交流人口の増加を目指す。
- 関係市町村：圏域内の全市町村



地域公共交通ネットワークの構築(南信州定住自立圏)

- 高齢者や高校生など交通弱者の移動手段について、利便性が高く効率的なアクセス方法を検討・検証しつつ、圏域内の公共交通ネットワークの構築に取り組む。
- 住民全体の移動手段確保に対する高いニーズに、市町村の枠を超えて対応。
- 関係市町村：圏域内の13市町村



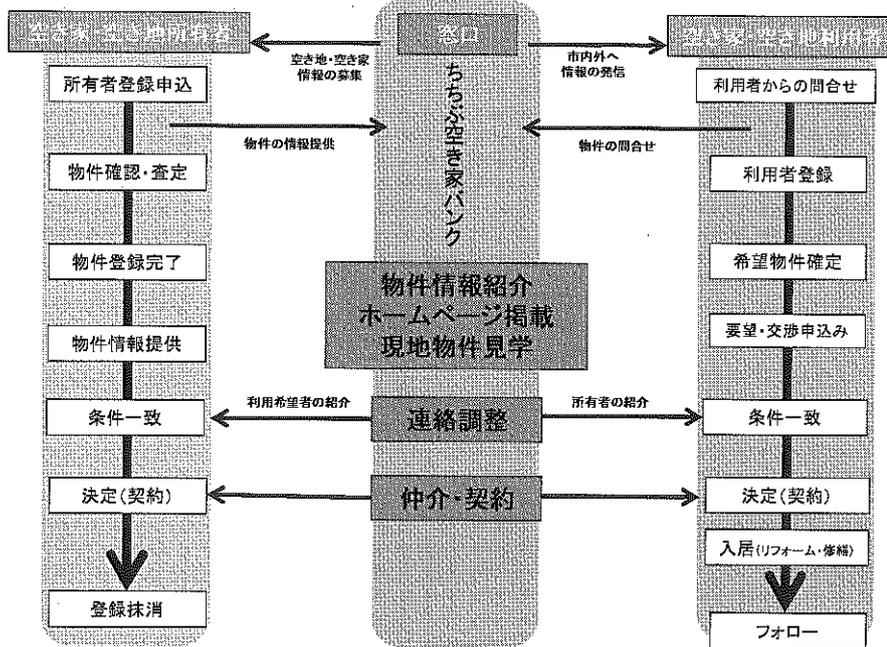
共生ビジョン記載事業名	運行区間
乗合タクシー-上市田線	飯田市～高森町
路線バス阿島循環線	飯田市～喬木村
路線バス大鹿線	大鹿村～松川町
豊丘村村営バス(一部)	豊丘村～高森町
路線バス駒場線	飯田市～阿智村
西部コミュニティバス	根羽村～平谷村～阿智村
平岡線(路線バス・乗合タクシー)	飯田市～天龍村
路線バス遠山郷線	飯田市～喬木村
路線バス新阿南線	売木村～阿南町～下條村～飯田市
路線バス湯田線(売木線)	売木村～阿南町～泰阜村～天龍村
路線バス泰阜線(一部)	泰阜村～飯田市

基幹路線	<ul style="list-style-type: none"> ● JR飯田線 ● 路線バス阿島循環線 ● 路線バス駒場線 ● 路線バス新阿南線
派生幹線	<ul style="list-style-type: none"> ● 長尾バス大鹿線 ● 乗合タクシー-上市田線 ● 路線バス湯田線 ● 平岡線 ● 西部コミュニティバス ● 路線バス遠山郷線(湯田線)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 豊丘村村営バス(一部) ● 路線バス高森線(一部)



空き家バンクの整備(ちちぶ定住自立圏)

- 圏域を形成する5市町と埼玉県宅建建物取引業協会秩父支部、広域秩父産業連携フォーラムFIND chichibuちかいなか分科会が連携して「ちちぶ空き家バンク」を運営。
- 空き家・空き地の売買・賃貸を希望する所有者から申込を受けた情報をホームページなどを通して公開し、定住などで空き家・空き地の利用を希望する方に情報提供を行う。
- 関係市町村：圏域内の5市町



早稲田大学との連携事業(本庄地域定住自立圏)

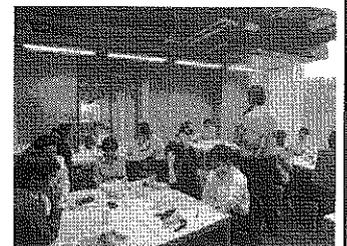
- 早稲田大学と本庄市との協働連携に関する基本協定に基づく連携事業を圏域へ拡大。
- 関係市町村：圏域内の4市町

◆政策立案研修

1市3町の圏域内職員を対象として早稲田大学大学院教授を講師に招き、幅広い視野や柔軟な発想を持った将来を担う人材育成を図ることを目的に研修を実施。

・実施内容

- ・民間企業・団体の創意工夫点を調査し、行政にどのように活用するかを検討。
- ・参加者：20名



政策立案研修(グループワーク)の様子

◆人材育成セミナー

1市3町の圏域内職員を対象としてセミナーを開催

・実施内容

- ・お茶の水女子大学学長特命補佐、早稲田大学社会連携研究所長を講師に招き、「個人と組織の関係」、「人的ネットワークの形成」等をテーマに講演会を開催。
- ・「各職場で抱える問題点」をテーマにワークショップを開催。
- ・参加者：約100名



人材育成セミナー(ワークショップ)の様子

取組内容及び役割分担の具体例

① 地域医療

事業名	ドクターカー運行事業(八戸圏域定住自立圏)	休日夜間急患診療所(南信州定住自立圏)
中心市名	八戸市	飯田市
連携団体名	三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、おいらせ町、新郷村	松川町、高森町、阿南町、阿智村、平谷村、根羽村、下條村、売木村、天龍村、秦阜村、喬木村、豊丘村、大鹿村
事業内容	圏域内の救急医療体制の充実を図り、更なる救命率の向上、救急医療水準の高度化を目指すため、圏域内の中核的な医療機関(八戸市立市民病院)にドクターカーを導入する。	圏域内の中核的医療機関(飯田市立病院)の機能確保を図り、各病院、診療所及び関係医療機関の連携体制を強化し、圏域が有する医療資源が効率的に運用される体制の充実を図る。
事業実施期間	平成21年度～平成25年度	平成21年度～平成25年度
総事業費	35,200千円	256,671千円
役割分担	八戸市:八戸市立市民病院にドクターカーを導入する。 連携団体:ドクターカーの維持管理を共同で行い、必要な経費を負担する。	飯田市:診療所の設置と管理を行う。 連携団体:円滑な運営の支援を行う。

② 福祉

事業名	ファミリー・サポートセンター事業(瀬戸・高松圏域定住自立圏)	手話通訳等派遣事業(旧員弁郡定住自立圏)
中心市名	高松市	いなべ市
連携団体名	三木町、綾川町	東員町
事業内容	会員同士が地域において育児について相互援助活動を行う「ファミリー・サポートセンター」の事業を実施する。	手話通訳者及び要約筆記奉仕員を登録し、申請に基づき派遣する。
事業実施期間	平成22年度～平成27年度	平成22年度～平成26年度
総事業費	12,254千円	3,540千円
役割分担	高松市:ファミリー・サポートセンターの設置、管理を行う。 連携団体:ファミリー・サポートセンターの運営を支援するとともに、同センターの行う育児に関する相互援助活動を住民に周知する。	いなべ市:事業を実施する。 連携団体:いなべ市に事業を委託し、委託事業に要する経費を負担する。

16

取組内容及び役割分担の具体例

③ 教育

事業名	図書館電子システム事業(唐津市定住自立圏)	伝統芸能・郷土芸能大会開催事業(東備西播定住自立圏)
中心市名	唐津市	備前市
連携団体名	※合併1市型	赤穂市、上郡町
事業内容	近代図書館のホームページ上での所蔵状況の公開及び貸出予約、図書館電算システムを定期的に更新する。	圏域及び姉妹都市の郷土・伝統芸能団体による芸能大会を赤穂市文化会館で実施する。
事業実施期間	平成22年度～平成26年度	平成22年度
総事業費	45,429千円	2,350千円
役割分担	中心地域:近代図書館を核とした図書館システムネットワークを充実させ、利用者の利便性を向上させる。 周辺地域:各地域の公民館を拠点に圖書の貸出又は返却を行い、利用者の利便性を向上させる。	赤穂市:企画・調整を行う。 連携団体:職員の参加、事業広報等を行う。

④ 産業振興

事業名	地場産業振興センターの運営(南信州定住自立圏)	有害獣肉有効活用推進事業(下関市定住自立圏)
中心市名	飯田市	下関市
連携団体名	松川町、高森町、阿南町、阿智村、平谷村、根羽村、下條村、売木村、天龍村、秦阜村、喬木村、豊丘村、大鹿村	※合併1市型
事業内容	(財)飯伊地域地場産業振興センターの管理運営を行う。	有害獣肉を有効活用するシステムを確立する。有害獣の処理加工施設を建設する。
事業実施期間	平成21年度～平成25年度	平成22年度～平成26年度
総事業費	244,891千円	107,400千円
役割分担	飯田市:センター運営に必要な人材の派遣及び確保に努め、関係町村と協議の上、必要経費を負担する。 連携団体:センターの運営に飯田市と共同で取組み、協議の上、必要経費を負担する。	中心地域:加工した食肉の商品化を図る。 周辺地域:有害獣の処理加工施設を建設する。

17

取組内容及び役割分担の具体例

⑤ 観光

事業名	観光ガイドスキルアップ事業(高知中央広域定住自立圏)	湖東圏域エコ交通環境整備事業(湖東定住自立圏)
中心市名	高知市	彦根市
連携団体名	南国市、香南市、香美市	愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町
事業内容	観光ガイドのスキルアップを図り、ホスピタリティの向上を目指す。	圏域内の鉄道各駅等にレンタサイクルを整備する。
事業実施期間	平成22年度～平成26年度	平成22年度～平成26年度
総事業費	19,487千円	8,800千円
役割分担	高知市:連携市相互に圏域内の情報を収集、発信する。	彦根市:事業の総合調整を図る。
	連携団体:連携市相互に圏域内の情報を収集、発信する。	連携団体:彦根市とともに事業の推進を図る。

⑥ 地域公共交通

事業名	コミュニティバスの運行(中海圏域定住自立圏)	予約型乗合タクシー事業(八女市定住自立圏)
中心市名	米子市、松江市	八女市
連携団体名	安来市、境港市、東出雲市	※合併1市型
事業内容	通勤や通学、通院等の利便性を高めるため、市境、県境をまたいだコミュニティバスの運行を行う。	一定のエリア内において電話で予約した利用者を、自宅から目的地まで送り届ける。料金は定額制。
事業実施期間	平成21年度～平成25年度	平成22年度～平成26年度
総事業費	278,330千円	278,000千円
役割分担	松江市:県境をまたいだコミュニティバスの運行を連携して実施する。	中心地域:実証運行を通じた検証を行い、圏域における公共システムの総合調整を図る。
	米子市:行政区域を越えて結ばれているコミュニティバス路線の運行に配慮するとともに、コミュニティバスが安全に運行するために必要な情報を提供する。	周辺地域:関係機関との調整及び住民への事業周知による利用促進を図る。
	連携団体:圏域内の都市機能を利用するため、コミュニティバスを運行する。	

18

取組内容及び役割分担の具体例

⑦ ICTインフラ整備、利活用

事業名	超高速ブロードバンド基盤整備事業(久留米広域定住自立圏)	行政・防災等の情報データ放送・配信システムの研究(宮崎県北定住自立圏)
中心市名	久留米市	延岡市
連携団体名	大木町	日向市、門川町、美郷町、日之影町、諸塚村、椎葉村
事業内容	公設民営方式で超高速ブロードバンド基盤整備に取り組み、インターネット等のサービス提供を行う。	関係市町村が構築または構築予定の光ケーブル網の相互連携の方法等を研究する。
事業実施期間	平成22年度～平成23年度	平成21年度～平成25年度
総事業費	14,000千円	平成22年度:地域ICT利活用広域連携事業 平成23年度:民間事業者実施
役割分担	久留米市:事業者や関係町との調整を図り、整備を中心的に進める。	延岡市:共有することができる情報データ配信システムの共同研究を行い、研究にあたっての調整を図る。
	連携団体:久留米市と連携して事業を進める。	連携団体:延岡市と共有することができる情報データ放送配信システムの共同研究を行う。

⑧ 交通インフラ整備

事業名	湖東定住自立圏バイコロジー整備促進事業(湖東定住自立圏)	鉄道連続立体化事業(伊勢崎市定住自立圏)
中心市名	彦根市	伊勢崎市
連携団体名	愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町	※合併1市型
事業内容	自転車を利用した通勤、通学、買物等の日常生活や観光等のルートマップ、パンフレットの作成によりバイコロジー(自転車が安全で快適に利用できる環境をつくる運動)の推進を図る。	伊勢崎駅を中心に、JR線、私鉄線を高架化し、踏切の除去及び伊勢崎駅・新伊勢崎駅の駅舎の建て替えを行う。
事業実施期間	平成22年度～平成26年度	平成22年度～平成26年度
総事業費	8,720千円	3,455,887千円
役割分担	彦根市:ルート(マップ)作成に係る業者の委託など、事業の総合調整を図る。	合併1市圏域での取組
	連携団体:彦根市とともに事業の推進を図る。	

19

八戸圏域定住自立圏

新設市町村	八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町
開始年月日	平成21年3月19日
開始年月日	平成21年9月24日
開始年月日	平成22年2月22日

生活機能の強化

<医師派遣事業>

地域医療体制の充実を目指し、圏域の中核的な病院から他の自治体病院へ医師を派遣する。



<ファミリーサポートセンター事業>

圏域内の子育て支援の充実を図るため、育児援助を受けたい人で行いたい人の相互援助活動をマッチングするファミリーサポートセンター事業の対象区域を圏域に拡大する。

<ドクターカー運行事業>

圏域内の救急医療体制の充実を図り、さらなる救命率の向上と救急医療水準の高度化を目指すため、圏域の中核的な病院にドクターカーを導入する。



<勤労者福祉サービスセンター事業>

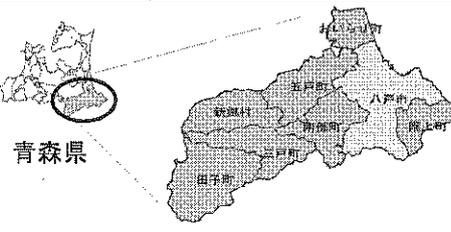
中小企業従事者の雇用環境の充実を図るため、中小企業従事者を対象に福利厚生事業を実施している「八戸市勤労者福祉サービスセンター」の会員資格を圏域に拡大する。

<農業情報提供事業>

農業の多様な担い手を育成し、圏域内の農業の発展を図るため、農業従事者や新規就農希望者等に対し、農業への従事レベルや関心の程度に応じた情報提供を行う。



人・産業が元気で活力・魅力を創造・発信する北東北の中核都市圏

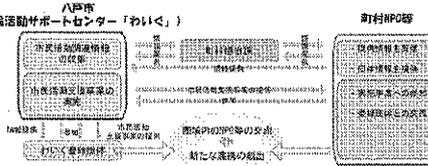


<職員合同研修の開催>

圏域内市町村職員の資質を向上させ、圏域マネジメント能力を高めるため、政策形成能力の向上を目的とした合同研修として「市町村職員交流スクール」を開催する。

<NPO等に係る各種情報提供支援体制の構築>

圏域内のNPO等の活動を促す(市民活動サポートセンター「わいく」)を進めるため、市民活動の拠点である市民活動サポートセンターを核に市町村間の連携を強化し、圏域内のNPO等の情報やNPO等の支援に関する情報を関係市町村間で共有する。

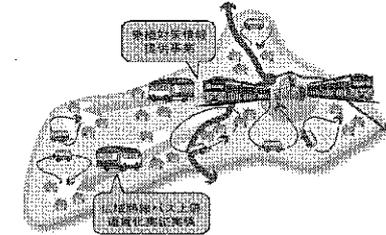


<安全・安心情報発信事業の圏域拡大>

気象情報や火災情報、交通安全情報などの暮らしの安全・安心に関する各種情報をメールで配信するサービス「ほっとスルメール」を圏域に拡大する。



<八戸圏域公共交通計画の策定・推進>



圏域内における日常生活を営む上で必要不可欠な住民の足の維持・確保を図るため、八戸圏域公共交通計画を策定し、計画に基づく各種事業を推進する。

結びつきやネットワークの強化

圏域マネジメント能力の強化

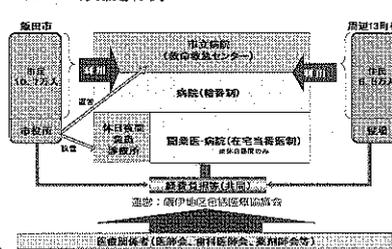
南信州定住自立圏

新設市町村	飯田市、松川町、高森町、阿南町、阿智村、平谷村、根羽村、下條村、売木村、天龍村、泰阜村、養木村、豊丘村、大原村
開始年月日	平成21年3月24日
開始年月日	平成21年7月14日
開始年月日	平成21年12月24日

生活機能の強化

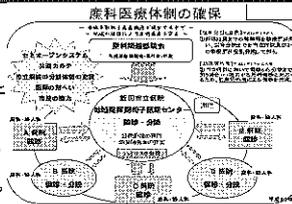
<救急医療体制の確保>

圏域の救急医療体制を確保するため、休日夜間当番制について支援を行う。



<産科医療体制の確保>

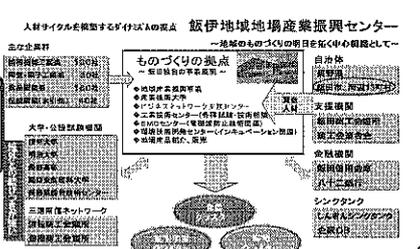
圏域の産科医療体制を確保するため、市、町及び村、圏域の産産関係者等で構成する産科問題懇話会を中心に、セミオープンシステム及び共通カルテの運用など、地域の医療機関と連携した取組を行う。



若者達が定着し、多彩な「人材」が将来にわりたり往来する活気にあふれ美しく心が響き合い安心して暮らすことができる「南信州定住自立圏」

<地場産業センターの運営等>

圏域の産業の中核的な支援機関である財団法人飯伊地域地場産業振興センターの施設及び人員を充実させ、圏域内の企業に対し人材育成、新事業展開、新規創業等の支援を行うことにより、企業の経営及び技術の革新並びに産業クラスターの形成を目指す。



<地域公共交通ネットワークの構築>

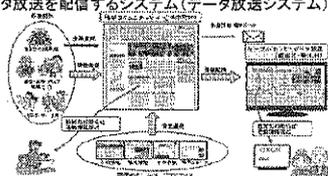
南信州地域公共交通総合連携計画に基づき、圏域における公共交通の課題について継続的に調査し、及び検証するとともに、JR飯田線の活用を踏まえたバス路線等の効果的かつ効率的な運行について総合的な調整を行い、圏域内の公共交通ネットワークの構築に取り組む。



長野県

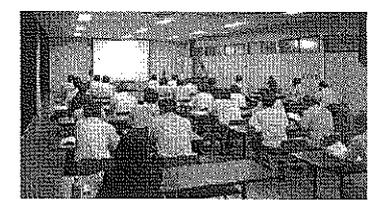
<地域情報共有システムの構築>

行政、各種団体等が情報を受発信し、圏域住民が各種地域情報を容易に入手できる地域コミュニティサイト及びケーブルテレビによるデータ放送を配信するシステム(データ放送システム)を構築し、及び運営する。



<人材育成等>

職員の資質向上及び圏域マネジメント能力を強化するため、合同研修、圏域外の専門家の招へい等を行う。



結びつきやネットワークの強化

圏域マネジメント能力の強化

湖東定住自立圏

協成市町村

彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町

中心市町村

平成21年4月15日

平成21年10月4日

中心市町村

平成22年3月25日

生活機能の強化

<周産期医療体制の確立>

滋賀医科大学寄附講座による医師確保対策などを活用し、彦根市立病院での産科医師によるハイリスク分娩の再開を目指す。

<交流・移住支援事業>

三大都市圏等の都市地域から人材を誘致し、地域協力活動への従事を通じて、定住・定着、地域の活性化を促進する地域おこし協力隊事業を実施する。また、圏域内の空き家実態の把握、利活用、流通促進を通じた観光振興を図るとともに、中山道などの空き家を活用した観光拠点の整備促進を図る。

地域おこし協力隊の地域活動事例

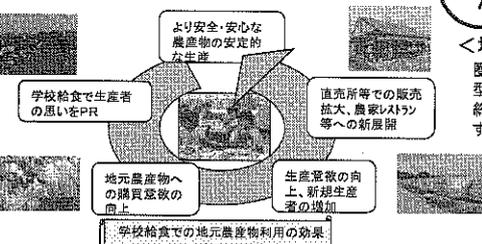


ベロタクシーのドライバー

屋形船の通航

<地産地消推進体制整備事業>

生産者と消費者をはじめ関係機関が連携し、地産地消の取組を積極的に展開するため、地産地消の行動方針を策定するとともに、広報啓発などを推進する。



結びつきやネットワークの強化

<地域創造事業>

「戦国」「戦(いくさ)」などをテーマに、圏域内の住民やNPO法人などが、自らが創意工夫を凝らして企画・立案・実施を行う事業に対して支援を行い、圏域の一体感の醸成と活性化を図る。

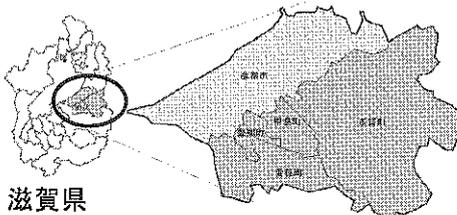


事業例：湖東三山をイメージの仮称「湖東三山：新江戸音頭演舞会」企画

滋賀の民謡である「江戸音頭」をベースに、湖東三山をイメージしたよさこい演舞を開発。踊りのCDやDVDを作成・配布するとともに演技指導会を行う。春休みには、演舞会を行い、圏域の新たな文化の

活力に満ちた、住みやすさを体感できる湖東定住自立圏

～定住人口の確保と交流人口の増加に向けて～



滋賀県

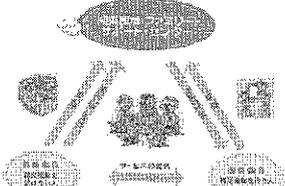
<地域公共交通の活性化>

圏域内における公共交通の活性化を図るため、予約型乗合タクシーの導入など、湖東圏域地域公共交通総合連携計画に基づき各種調査、改善事業を実施する。



<ファミリー・サポート・センター事業>

働く人の仕事と家庭生活の両立支援を目的に、地域において依頼会員と提供会員の組織化を図り、有償による一時預かり育児サービスを提供する。従来、彦根市で実施していた事業を湖東圏域に拡大する。



<図書館ネットワーク構築事業>

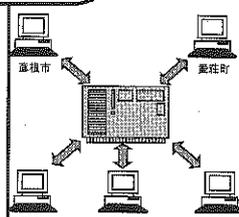
圏域内図書館相互のネットワーク化を図り、相互貸借の実施など、圏域住民の誰もがどこでも利用しやすい図書サービスの充実を図る。

<職員交流事業>

改善等が必要な政策分野の業務ノウハウを吸収し合うため、合同での職員研修会の開催や関係職員の派遣または受入を行う。

<コンピュータシステムの共同利用・共同開発事業>

共同利用可能な業務および効率化が図れる業務等の選定およびその方法等具体的な検討を行い、コンピュータシステムの共同利用・共同開発に取り組む。



※互換システム構成図はあくまでもイメージ図であり、実際のシステム構成図を示すものではありません。

圏域マネジメント能力の強化

東備西播圏域定住自立圏

協成市町村

岡山県備前市、兵庫県赤穂市、兵庫県上郡町

中心市町村

平成21年3月18日

平成21年12月25日

中心市町村

平成22年3月23日

生活機能の強化

<生涯学習の推進>

圏域市町施設の利用や事業参加の制約を取り除くとともに、様々な文化、スポーツ事業を実施し、住民に文化、スポーツ活動への参加の機会と場所を提供する。



指定文化財・文化施設巡りツアー（国宝旧開谷学校）

<観光振興推進事業>

赤穂市の忠臣蔵、備前市の備前焼、上郡町の古代山陽道など恵まれた観光資源と各地の特産物などを活かした観光ルートの設定、ご当地グルメの開発及びPRを行う。



写真左：塩モロどん 右：いとこぜんざい

自然と歴史にまつまれた、笑顔あふれる文化交流都市圏

県境型



岡山県・兵庫県

圏域マネジメント能力の強化

<圏域内の職員等の交流>

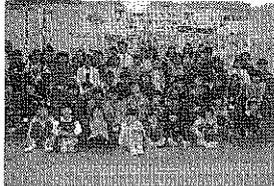
職員の資質向上及び圏域マネジメント能力の強化を図るため、圏域外からの専門家の招聘や、職員研修、職員交流を行う。



事例：圏域外より講師を招いての市町職員研修

<民間イベント等助成事業>

圏域内の複数の市町で実施し、住民交流の促進と賑わいの創出、相互の理解を深めるために住民が実施するイベントなどに対し、助成を行う。



事例：上郡・赤穂・備前 絵マップ交流発表会

<定住相談会開催等事業>

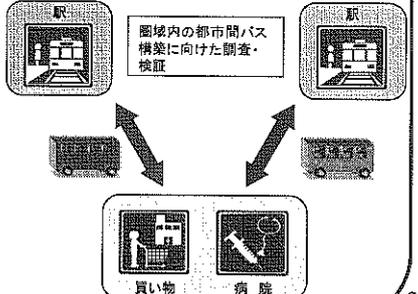
定住相談会を都市部で開催し、各市町の定住支援策等の情報を発信し、圏域外からの移住及び交流人口の増加を図る。



都市部での相談会実施（ふるさと回帰フェア会場）

<圏域運行バス調査検証事業>

住民の移動手段を確保するため、圏域運行バスの導入に向けて調査・検証を行う。



結びつきやネットワークの強化

「定住自立圏」地域創富力高度化調査事業（平成23年度）

趣旨

地域に根ざした雇用創出効果のある産業振興の取組であって、先進的・独創的な取組を行おうとする地方公共団体を募集し、その中から他の定住自立圏のモデルとなるような取組を委託調査事業として採択し、先進事例を構築する。

採択団体 12団体（採択総額79,889千円）

	採択団体名
1	小樽市(北海道)
2	室蘭市(北海道)
3	弘前市(青森県)
4	八戸市(青森県)
5	湯沢市(秋田県)
6	飯田市(長野県)
7	美濃加茂市(岐阜県)
8	山口市(山口県)
9	今治市(愛媛県)
10	天草市(熊本県)
11	都城市(宮崎県)
12	薩摩川内市(鹿児島県)

取組事例

弘前市

弘前圏域の特性を生かした産業と雇用を創出していくため、桃をテーマとした地域ブランド化と農商工連携・6次産業化の促進を両輪で取り組み、地域に資金が循環する食産業育成モデル事業を実施。

- ・プロジェクトマネージャーの配置
地域内での農商工連携等を促進するため、食産業に精通した民間の専門家を配置し、具体的な加工開発に係るアドバイスやコーディネート活動を展開。
- ・地域ブランド化に向けた検討
生産者、JAと行政等を中心とした実務者によるブランド化検討チームを組織し、ロゴマーク等デザインを含むブランド戦略を検討。
- ・農商工連携・6次産業化の促進
付加価値の高い新たな加工品等の開発を促進するため、プロジェクトマネージャーによるコーディネートのもと、シェフ、パティシエ、食品加工業者と協力しながら、津軽桃ロールケーキなどの試作品を開発。 ※津軽桃のロールケーキ ※規格外の桃を一次加工（ピューレ、シロップ漬）し、加工用の原料とした上で、スイーツ等に展開
- ・販路の開拓
桃をはじめとする圏域の農産物・加工品の展示・PR、販路拡大を支援するため、アグリフードEXPO大阪2012など、各業種のバイヤーを対象とした展示商談会に弘前圏域ブースを設け、商談の機会を提供。



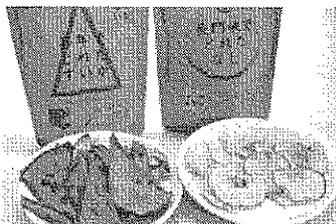
24

「定住自立圏」地域創富力高度化調査事業（平成23年度）

山口市

山口の食文化を育んできた乾物にスポットを当て、世界でもトップレベルの乾燥技術を持つ圏域内企業等が連携し、圏域内の農山漁村地域の地域資源（農林水産物）を活用した現代の乾燥食品（乾物）の商品開発等に取り組む。

- ・圏域内の連携
県内随一の温泉宿泊地（湯田温泉）や飲食・商店機能、世界でもトップレベルの地元食品乾燥メーカー、大学、農林水産業の技術センター等が連携し、「KAN-BUTU（乾物）」による圏域「食」のブランド確立、情報発信、所得向上、雇用創出効果を目指す。
- ・乾物（乾燥食品）の開発
圏域内の農林水産物（嘉年のスイカ、長門峡のナシ、カイガラアマノリ等）を、現代の食生活・ニーズを踏まえ、地元乾燥メーカーと連携して乾物（乾燥食品）に加工。
- ・高い技術を持つ地元企業との連携
圏域内中心部に立地する地元乾燥メーカーによる生産者への開発支援、技術指導、試験乾燥機のリース
- ・販路の開拓
地元道の駅での販売、インターネット上での販売、地元出身の料理研究家による生産者・事業者・消費者等への講座開催、地元メディアによる情報発信



天草市

首都圏のスーパーマーケット内にアンテナショップ「あまくさ宝島市場」を出店し、圏域内の農林水産物や加工食品等を販売。6次産業化の推進に向け、販路拡大と天草ブランドの確立を図る。また、農業の担い手確保のため、農業担い手公社の設立に向けた研究を行う。

- インショップモデルの調査・研究
 - ・天草ブランドの確立
圏域特産の柑橘類（ポンカン、デコボン）を主力商品とし、新鮮な農林水産物を使った加工品などを販売。天草の知名度の向上を図るとともに、大都市圏の消費者のニーズを把握し、天草ブランドの確立に向けた課題の検討、商品力の強化を行う。
- ・ショップの開設
スーパーマーケット内に出店することで、集客を確保するとともに、店舗運営のノウハウを学ぶことができる。平成23年度から2年間の出店予定で、一日10万円程度の売上を見込む。
- ・販路拡大に向けた活動
あまくさ宝島市場で取り扱っている商品について、首都圏で販路開拓を目指した営業活動を実施。
- 農業担い手公社（仮称）の設立調査
 - ・新たな農業の担い手の確保・育成及び農業生産基盤の充実等のために、「農業担い手公社（仮称）」の設立を天草市と農協で検討しており、設立に向け、先進地視察などの事前調査を実施。



25

定住自立圏構想における重点取組分野（産業振興、文化芸術、地域医療）

定住自立圏構想の取組をさらに全国に広めるため

「第6回定住自立圏構想に関する懇談会」において重点取組分野とされた3分野

産業振興	文化芸術	地域医療
<ul style="list-style-type: none"> ・農工商連携による地域ブランド開発 ・観光資源連携による広域観光ネットワーク形成 等 <p>⇒平成23年度に「定住自立圏」地域創富力高度化調査事業を実施 (他の定住自立圏のモデルとなるような、地域に根ざした雇用促進効果のある産業振興の取組の提案を受け、委託調査事業として採択)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統芸能・郷土芸能大会の開催 ・圏域内の児童・生徒への文化芸術鑑賞機会の提供 ・国際音楽祭の開催支援 等 <p>⇒平成23年度に創造的人材の定住・交流促進事例に係る調査を実施 ⇒「定住自立圏構想推進シンポジウム in高松 ～文化芸術の振興による地域力の創造に向けて～」を開催 (平成24年1月18日、高松市)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・休日夜間(小児)救急センター設置 ・自治体病院間の医師派遣体制構築 ・共通カルテ運用 ・適正受診啓発による圏域の医療資源確保 ・遠隔医療などによる病診連携推進等 <p>⇒「地域医療に関する定住自立圏構想推進シンポジウムin旭川」を開催 (平成23年10月2日、旭川市)</p>

これら3分野について、平成24年度に委託調査事業を実施 (予算額 110百万円)

「定住自立圏」推進調査事業(平成24年度予算)

定住自立圏構想の推進に関する懇談会において重点取組分野とされた産業振興・文化芸術・地域医療の3分野について、地方公共団体からの提案を受け、その中から他の定住自立圏のモデルとなるような取組を委託調査事業として採択し、先進事例を構築するとともに、各定住自立圏における取組を充実・深化させていくうえでの実態的・制度的な課題・解決策の抽出、検証、提言等を行っていただく。

【採択団体】 15団体(採択総額:109,400千円)

産業振興 (採択団体:秩父市、下関市、都城市)

圏域全体の活性化を目指し、各定住自立圏の特性を活かした雇用創出効果のある産業振興の手法を開発・検証

【採択事例】

- ・圏域の構成市町村と観光関連団体で構成される機関を中心に観光客に対する情報提供の充実(旅行プランのHP掲載、携帯端末への旅行情報発信、地元特産品情報発信)を図るとともに、地元観光関係者と連携した観光商品(観光ルート)の開発を行う。(秩父市)
- ・圏域内の産学官の連携により、圃場、畜産農場などの生産現場のリモートセンシングによるデータ収集、特定小電力無線によるデータ送信、インターネットサーバーでのデータ蓄積、生産者によるデータ可視化までの一連のシステム構築を図り、農林水産物の高付加価値化等を推進する。(都城市)

文化芸術 (採択団体:八戸市、鶴岡市、飯田市、長浜市、山口市、高松市、高知市)

芸術家や音楽家などの創造的人材の定住や交流を通じて、知的付加価値を生み出す創造性に富んだ土壌を圏域に形成するための取組について調査・検証

【採択事例】

- ・創造的映画人材の育成として、俳優や脚本家の養成につながるワークショップを実施。また、地域映画の制作として、食文化資源を活かす映画企画案を公募のうえ作品制作を行い、圏域が協働・運帯して地域の魅力を創造し、地域振興を図る。(鶴岡市)
- ・「食」をテーマに地域の大学等と連携を図りながら、芸術分野の創造的人材の育成(創造的人材の表彰、発表機会提供、食文化芸術講座開催)をはじめ、地域との交流や創作創造活動(国際シンポジウム開催、食文化作品制作)、情報発信(情報誌の作成やネット発信)を実施し、個性的な圏域としての魅力を向上させる。(山口市)

地域医療 (採択団体:旭川市、いなべ市、西脇市、天草市、延岡市)

定住自立圏の広域的な枠組みを活用し、住民、行政、企業等を巻き込んだ地域ぐるみでの地域医療体制の構築について調査・検証

【採択事例】

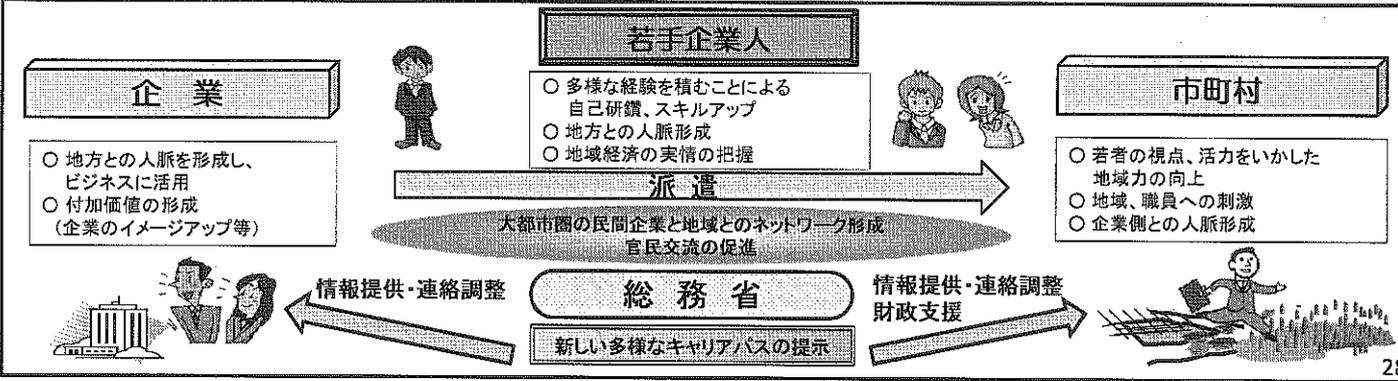
- ・住民の地域医療に対する理解を深め、圏域の医療資源の有効活用を図るため、地域医療連携会議を設置・運営するとともに、地域医療を守る住民団体の活動支援、住民フォーラムの開催、適正受診の啓発、市民意識の調査等を実施する。(西脇市)
- ・「メディカル」をキーワードとした地域資源が集積している特性を活かし、医療機器産業の振興を図るため医療機器メーカーが立地しやすい環境を調査・分析して事業展開の方策を決定するとともに、地域医療の充実や健康長寿を推進するため産学官連携による健康長寿施策を検証する。(延岡市)

若手企業人 地域交流プログラム

大都市圏の企業に勤務する若手企業人が、一定期間(1~3年間)地方の自治体に派遣され、地域独自の魅力や価値の向上につながる業務に携わることにより、地方の元気づくりを推進するとともに、地方と大都市圏の交流の架け橋となる人材として将来的な活躍を期待。

- 派遣対象者** 三大都市圏内に本社機能が所在し、全国的に事業を展開している民間企業の入社概ね3~5年の社員
- 受入市町村** 定住自立圏に取り組む市町村(周辺市町村を含む)等原則として異業種2名1組で派遣
※三大都市圏内の民間企業・官公庁から人材の派遣を受けている市町村は、1名のみ受入であっても対象とする。
- 派遣期間** 1~3年程度
- 財政支援措置** 若手企業人を受け入れる自治体の財政負担に対して地方財政措置を講じる。

受入市町村	派遣元企業
八戸市	NEC・リクルート
秩父市	西武鉄道・近畿日本ツーリスト
飯田市	日立製作所・(ローソン)
いなべ市	近畿日本ツーリスト・(官公庁)
延岡市	リクルート・野村證券
鹿屋市	ぐるなび・あいおいニッセイ同和損保



若手企業人地域交流プログラム関連 新聞記事(青森県八戸市・長野県飯田市)

定住自立圏構築 地域交流事業 都内企業から八戸市に派遣

民間目線で奮闘中

若手2人、充実の日々

平成24年5月4日、デーリー東北21面

平成24年4月23日 毎日新聞3面

若手企業人2人迎える

飯田市の若手企業人を派遣するとして受け入れる飯田市の企業エリートで、派遣先は、飯田市の「若手企業人派遣交流プログラム」で、ロウを派遣している。...

山田さんは、飯田市の「若手企業人派遣交流プログラム」で、ロウを派遣している。...

松山さんは、飯田市の「若手企業人派遣交流プログラム」で、ロウを派遣している。...

平成24年5月4日、デーリー東北21面

定住自立圏形成に向けた創造的人材の定住・交流促進事例調査

調査の概要

三大都市圏以外の地方圏において、芸術家や音楽家などの創造的人材が定住・交流を行い、知的付加価値を創造することによって、知の拠点とも言うべき人材交流のノード(結節点)が形成されるとともに、地域住民の地域に対する愛着や誇りが育まれ、創造性に富んだ地域の土壌の形成につながっている例がある。各地域における創造的取組のきっかけ・現状・成果等を調査することによって、創造的人材が行ってみたい・住んでみたいと思う要素について分析を行った。 報告書URL: http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/kenkyu/teizyu/

現地調査を行った地域

有識者同行のもとヒアリングを実施

富良野市	富良野演劇工場、富良野塾
八戸市	八戸ポータルミュージアム「はっち」
仙北市	たざわ湖芸術村
十日町市など	越後妻有 大地の芸術祭の里
金沢市	イート金沢
洲本市	淡路島アートフェスティバル
鳥取市	鳥の劇場
高松市など	瀬戸内国際芸術祭
別府市	現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」
霧島市	霧島国際音楽祭

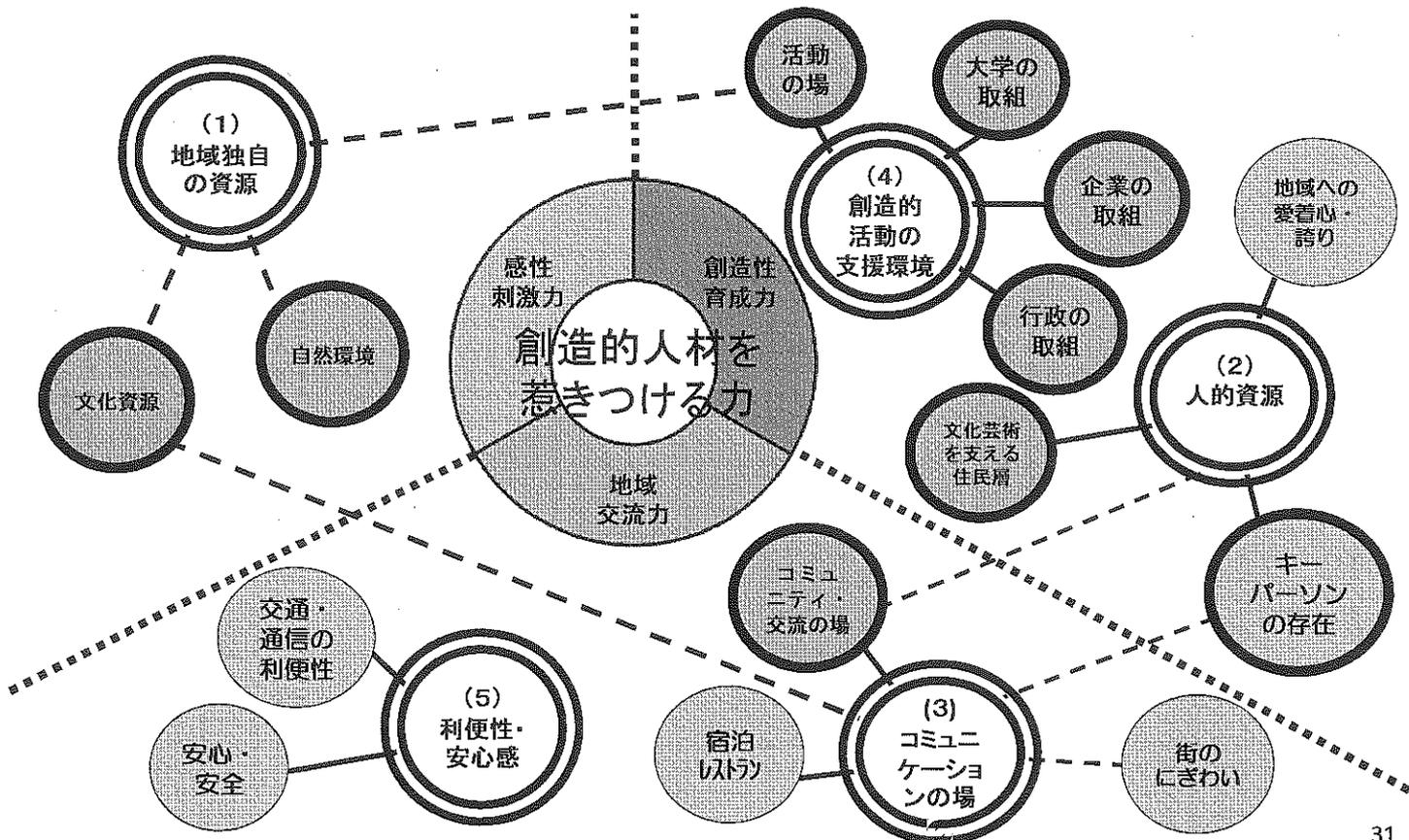
文献等による調査を行った地域

夕張市	ゆうばり国際ファンタスティック映画祭	小布施町	小布施流まちづくり
東川町	東川町国際写真フェスティバル	美濃市	美濃和紙あかりアート展
仙台市	せんだいメディアテーク	西尾市	三河・佐久島アートプラン21
大館市	ゼロダテ	長浜市	黒壁のまちづくり
山形市	山形国際ドキュメンタリー映画祭	高島市	風と土の工芸
鶴岡市	庄内映画村	近江	ポーダレス・アートミュージアム NO-MA
いわき市	いわき芸術文化交流館アリオス	舞鶴市	MAIZURU RB
水戸市	水戸芸術館「カフェ・イン・水戸」	豊岡市	カバンストリート
取手市	取手アートプロジェクト	丹波市	丹波の森国際音楽祭
守谷市	アーカス・プロジェクト	篠山市	「シューベルティアーデたんば」
甲府市	こうふまちの芸術祭	倉吉市	アザレアのまち音楽祭
高崎市	高崎映画祭 高崎フィルムコミッション	三次市	灰塚アースワークプロジェクト
中之条町	中之条ビエンナーレ	庄原市	AiR Onomichi
南砺市	利賀フェスティバル	尾道市	美祿市 秋吉台国際芸術村
水見市	アートNPOヒミング	神山町	神山アーティスト・イン・レジデンス
輪島市	NPO法人土蔵文化研究会	佐賀市	まちの間プロジェクト
あわら市	金津創作の森	熊本市	熊本暮らし人祭りみずあかり 熊本市現代美術館
越前市	武生国際音楽祭	由布市	湯布院映画祭
松本市	サイトウ・キネン・フェスティバル 松本	鹿屋市	柳谷集落迎賓館事業
飯田市	オーケストラと友に音楽祭	那覇市	桜坂劇場
		沖縄市	スタジオ解放区、コザ銀天大学

創造的人材を惹きつける地域の要素

- ・豊かな自然を体感でき、地域独自の文化資源はあるか
- ・幅広い人的ネットワークを持ったキーパーソンはいるか
- ・良いモノの価値を理解し、活動的な地域住民の層は厚いか
- ・地域コミュニティは閉鎖的でなく寛容で多様性に富むか
- ・街ににぎわいがあり、心地よく滞在できる環境はあるか
- ・行政、企業、大学等は創造的な活動の支援に積極的か
- ・交通・通信の利便性、安心安全な環境、郷土愛 等

創造的人材を惹きつける要素



創造的人材を惹きつける地域の要素に係るチェック項目

1 地域独自の資源		2 人的資源	
1-1 自然環境 都市的機能を楽しみながらも豊かな自然、街の緑などを体感できるか		2-1 キーパーソンの存在 内外に幅広い人的ネットワークを持ったキーパーソンがいるか	
居住空間の窓から緑が見えるか		新しい取り組みにチャレンジし、プロジェクトを進める力を持ったプロデューサー的人材はいるか	
カラス以外の野鳥の鳴き声を聞けるか		外部の文化人等と地元メンバーをつなぐホスピタリティにあふれたコーディネーター的な地元人材はいるか	
多様な生物が棲息し、素足を浸すことのできる河原があるか		2-2 文化芸術を支える住民層 良いモノの価値を理解する活動的で寛容な地域住民の層は厚いか	
萌える新緑や花の香りのほうが車の排気ガスの臭いに優るか		人々が集う雰囲気の良い長居ができるカフェはあるか	
四季を通してアウトドアが楽しめるか		生演奏を聴かせる店や夜遅くまでやっているバーがあるか	
1-2 文化資源 地域固有の文化、若い担い手がいる文化、豊かな食文化はあるか		ダンス等の発表会やギャラリーでの個展はよく開かれるか	
写真を撮りたいと思うような街並みや風景があるか		2-3 地域への愛着心・誇り	
その土地をイメージさせる音楽、音があるか		地元中学・高校のクラブが県大会、全国大会で活躍しているか	
その土地にまつわる物語はあるか		地元高校卒業生(域外進学)のUターン就職率は高いか	
歴史ある建築物を生かした新しい活用事例はあるか		東京等で地元出身者の組織が活発に活動しているか	
その地ならではの新鮮な地元食材を使ったメニューはあるか		その街を連想させるアイデンティティ・シンボルはあるか	

32

3 コミュニケーションの場		4 創造的活動の支援環境	
3-1 コミュニティ・交流の場 地域コミュニティは閉鎖的でなく、多様な人々が活発に交流しているか		4-1 行政の取り組み 自治体に現状停滞への危機感があり、創造的活動の支援に積極的か	
地域に内外の創造的人材が集うサロンのような場はあるか		地元自治体が文化芸術の振興に新規予算をつけているか	
自治会、町内会以外のNPO等の多様なコミュニティがあるか		クリエイティブな活動に提供される様々な補助金があるか	
若者やよそ者も参加し、子供たちが憧れる祭りがあるか		自治体が域外からの人材の移住促進策を講じているか	
市民ワークショップ等の学びやディスカッションの場が多いか		4-2 企業の取り組み その地域の文化芸術の振興に地元企業等が貢献しているか	
活発に活動している地域SNSや電子掲示板はあるか		企業が地域で金銭的・人的なメセナ活動をしているか	
3-2 街のにぎわい 商店街や公園など人々が集う場は活気づいているか		本業改革型のビジネスを展開する地元企業はあるか	
商店街は、消費者金融、携帯電話ショップ、パチンコ屋の目立つシャッター通りとなっておらず、雑貨店やブティックはあるか		4-3 大学等の取り組み 人材や取組の受け皿となる大学等の機関があり、積極的に活動しているか	
公園は親子連れや赤ちゃんを運れた母親達でにぎわっているか		地域の大学等にクリエイティブな学科はあるか	
市民ランナーが安心して走れるロード、手頃な散歩道はあるか		地域の大学等は地域内外との交流に熱心に取り組んでいるか	
3-3 宿泊施設、レストラン 外部から地域を訪れる創造的人材が心地よく滞在できる環境があるか		4-4 活動の場 クリエイティブな人材が活躍できる場が存在しているか	
来訪した文化人等が泊まるのに相応しいホテル、旅館等はあるか		交流・創作・発信の場となる施設等が存在するか	
地元の食材を主に出す居酒屋はあるか		創造的人材が働く場、クリエイティブ産業の萌芽はあるか	
腕利きのシェフが料理を出すレストランが和洋ともにあるか		地域がテーマ設定した継続的なイベントが数多くあるか	
		地域の文化芸術を支援するNPO等が活発に活動しているか	

5 利便性・安心感	
5-1 交通・通信の利便性 大都市圏から日帰り可能など交通が便利で、通信環境も遜色ないか	
東京など大都市圏から日帰りも可能だが宿泊客は多いか	
無線、ブロードバンドなどストレスなく通信できる環境か	
5-2 安心・安全 安心して住める環境が、急に病気になっても大丈夫か	
女性でも安心して夜道を一人で歩けるか	
急に病気になっても見てもらえるいい医者はいるか	

33

地域活性化の拠点として学校を活用した地域づくり

小学校

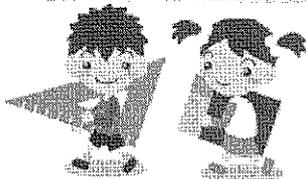
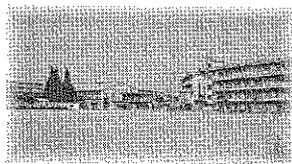
秋津小学校(千葉県習志野市)

【きっかけ】

自発的で活発なPTA活動が行われている素地があった中、「住民によるコミュニティルーム(余裕教室や畑用敷地)の自主管理」が市の教育委員会に認められた。

【活動内容】

ニュータウンの小学校が、PTAのOBや卒業生を含む多世代が交流するコミュニティ活動の拠点となり、子育てしやすい地域として児童生徒数の減少にも歯止めがかかってきた。



中学校

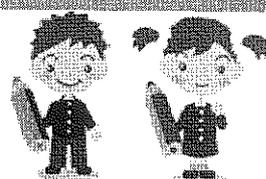
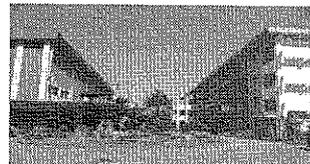
池田中学校(大阪府池田市)

【きっかけ】

不登校は市内一。前任校長が「身の危険を感じた」ほど荒れた学校であったが、一念発起した教職員たちが学校再生を目指した取り組みをスタートさせた。

【活動内容】

マイタウンプロジェクトとして、地元の住民や大学生ら約300人がスタッフ登録して土曜事業を行っているほか、地域内の職場体験、空き店舗でのバザーなどを展開している。



高校

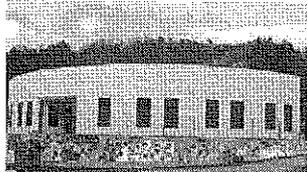
相可高校(三重県多気町)

【きっかけ】

生徒たちに外の世界を体験させようと、地域イベントに出店。また、文部科学省の「目指せスペシャリスト」事業の指定校に選ばれた。

【活動内容】

産官学が連携し、高校生が運営するレストラン「まごの店」をオープン。食物調理科の生徒達のクラブ活動として、土日に地元食材を使ったレストランを展開している他、生産経済科の生徒達は、地元の天然素材を活かしたハンドクリーム等をプロデュース。



廃校

森の巣箱(高知県都農町)

【きっかけ】

過疎化、高齢化による集落消滅のおそれを感じた床鍋集落の住民が、行政と二人三脚で集落再生に取り組むこととなった。

【活動内容】

廃校を改修して、コンビニ、食堂・居酒屋、宿泊機能も備えた集落・交流活動の拠点として整備。住民生活を支える場、集落のコミュニティの場としても機能している。ホタルまつりを開催するなど、年間入り込み人数は延べ1万人にのぼる。



34

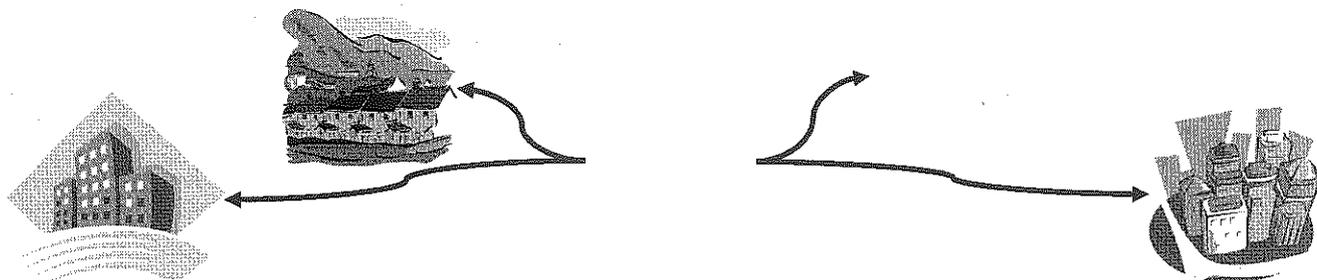
定住自立圏構想NEWSについて

総務省では、定住自立圏構想に関する最新の情報を直接お届けするため、希望する方々に「定住自立圏構想NEWS」をメール配信中です！

登録方法

- 総務省地域自立応援課アドレス (teiuyu-jiritsu@soumu.go.jp) 宛に、下記①～④を連絡
- ①都道府県名、市町村名、その他団体名
- ②所属・役職(所属長及び担当)
- ③氏名(所属長及び担当)
- ④メールアドレス(所属長及び担当)

※メールの件名を「(団体名)定住自立圏連絡用アドレス登録」としてください。



35